

愛媛大学

Ehime University

副学長・国際連携推進機構長

杉森 正敏

愛媛大学の歩み

昭和24年 愛媛大学設置

文理学部（松山高等学校）、教育学部（愛媛師範学校・愛媛青年師範学校）、工学部（新居浜工業専門学校）から構成

昭和29年 農学部を設置（愛媛県立松山農科大学を移管）

昭和43年 法文学部，理学部を設置（文理学部の改組）

昭和48年 医学部設置

平成16年4月 国立大学法人へ移行

平成17年3月 大学憲章の制定

平成21年11月 開学60周年

平成28年4月 社会共創学部設置

法文・教育・農学部の改組

この他、大学院研究科等の整備により、

7学部・6研究科、約1万人の学生を

擁する四国最大の総合大学に発展



愛媛大学の強み

■ 県内唯一の国立大学

- 理系人材の育成
- 医師・看護師、教員の養成
- 地域志向人材の育成

■ 高度の学術研究機能

- 先端研究センター群

■ 幅広い社会連携機能

- 地域密着型研究センター群



大学の戦略・ビジョンと直結！

VISION

愛媛大学は、
「輝く個性で地域を動かし世界とつながる大学」
を創造する。

戦略1

地域の持続的発展を支える
人材育成の推進

- 取組1 社会共創学部を中心とした地域人材育成機能強化のための組織再編
- 取組2 教育力向上のための教職員能力開発拠点の強化
- 取組3 意欲の高い学生を確保するための入試改革と高大接続の推進

戦略2

地域産業イノベーションを
創出する機能の強化

- 取組1 地域密着型研究センター群による地域産業イノベーションの強化
- 取組2 COC・COC+事業を通じた地域創生への貢献
- 取組3 COC人材育成・地域活性化センターの設置（地域専門人材育成機能の強化）

戦略3

世界をリードする
最先端研究拠点の形成・強化

- 取組1 新物質の創成と応用を目的とした超高圧物質科学の推進
- 取組2 タンパク質合成・解析技術を活かしたアカデミア創薬分野の強化
- 取組3 化学汚染・沿岸環境共同利用・共同研究拠点の形成と研究の推進
- 取組4 先進超高圧科学研究拠点（PRIUS）における研究推進
- 取組5 リサーチユニット制度の導入による次世代先端研究拠点の育成

課題解決能力とリーダーシップを備えた
有為な人材を地域により多く輩出

人材輩出

地域産業イノベーション、
地域専門人材育成を通して、
新事業の創出と就職機会の増加に貢献

産業ニーズ

最先端研究を推進し、
基礎科学研究の成果を社会に還元

雇用創出

ブレイクスルー

地域を牽引し、グローバルな視野で社会に貢献する

平成30年度運営費交付金の重点支援に係る評価結果

- 平成30年度運営費交付金の重点支援に当たっては
戦略等の進捗状況により評価が行われた。

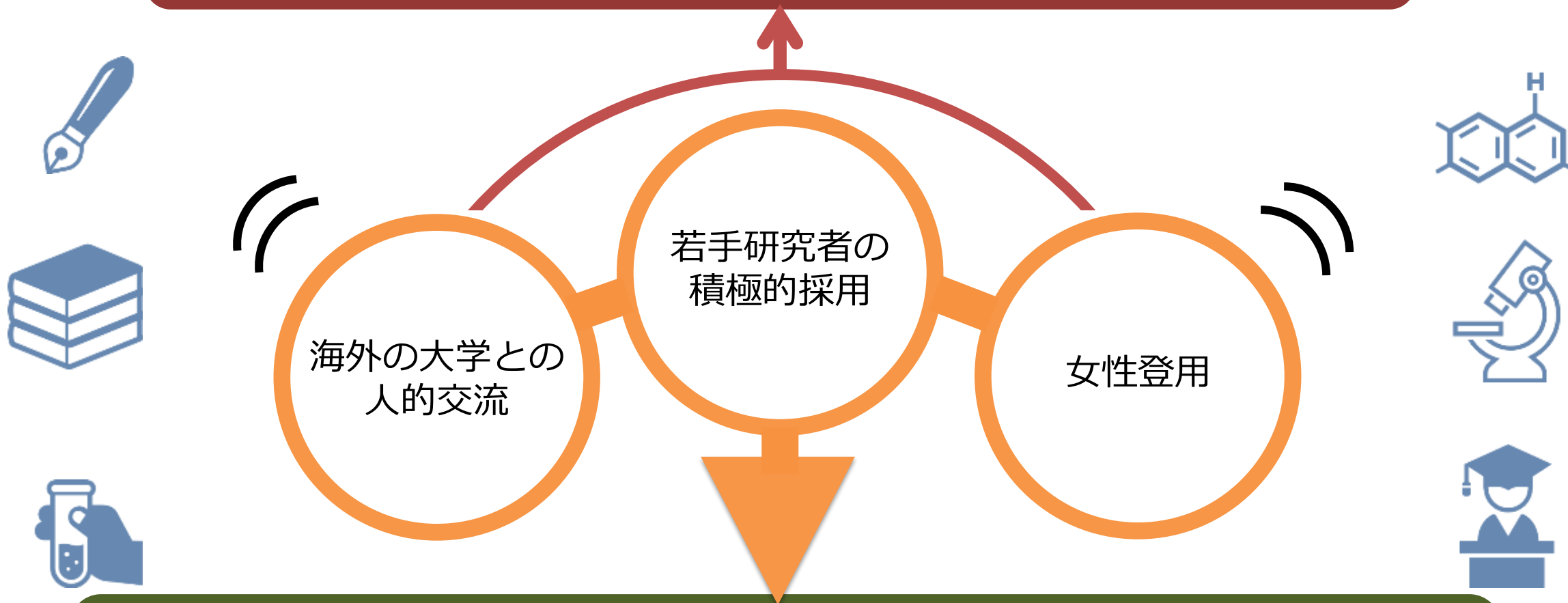
評価結果			戦 略
H30	H29	H28	
A	A	C	戦略1： 地域の持続的発展を支える人材育成の推進
A	A		戦略2： 地域産業イノベーションを創出する機能の強化
A	B		戦略3： 世界をリードする最先端研究拠点の形成・強化

※上記順位は、重点支援①『地域貢献』における戦略の進捗状況の評価に基づく運営費交付金の配分率順位

**今後も、教育・学術・社会連携・国際連携の
各機構を基軸に戦略を実施し、ビジョンの実現に向け努力する。**

「多様化」 = 「人材の多様性」の創出

様々な分野に多様な人材が集まる環境構築をめざす

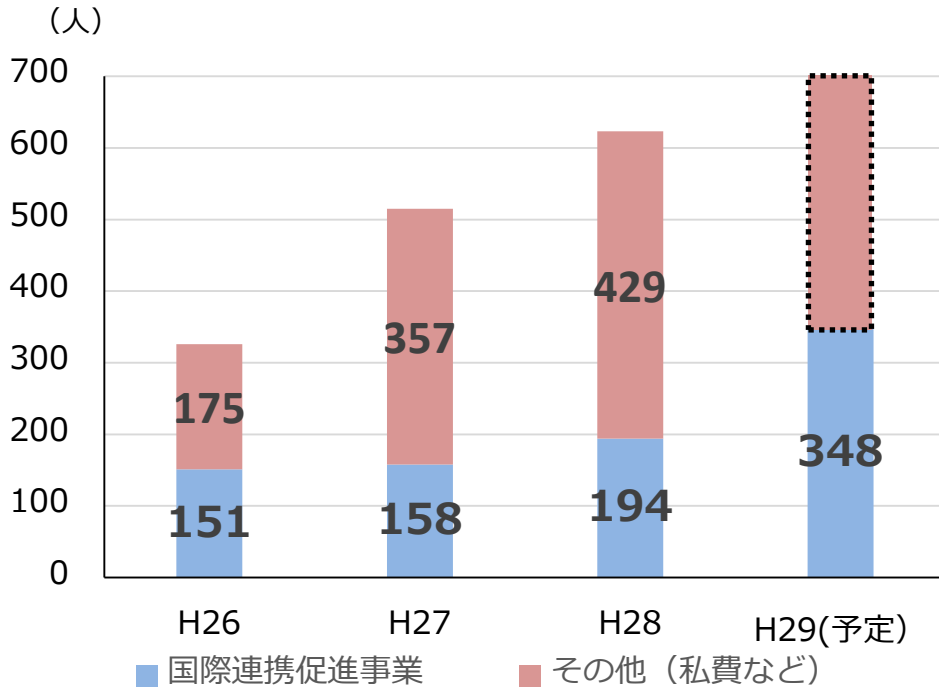


良い意味での「人材の流動化」が進行し、
「**斬新な教育実践**」や「**研究の先鋭化**」の動きが生まれる。

国際交流に対する支援を強化する

学生の海外派遣

学生海外派遣人数の推移



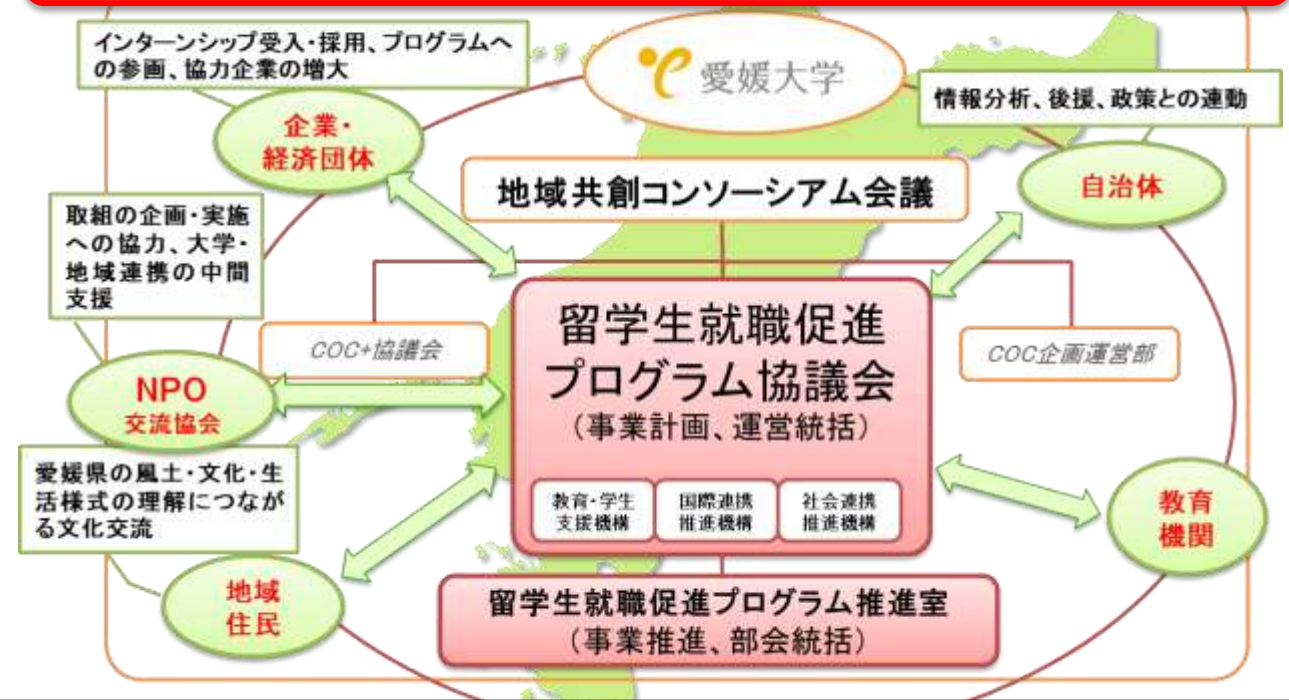
※H29年度は学生海外派遣プログラムによる短期派遣数のみを計上 (H29. 12時点)

留学生の受け入れ

平成29年度 文部科学省留学生就職促進プログラム 採択

「愛媛の大学と企業が育てる高度外国人材育成プログラム」 ～“オールえひめ”構想～

愛媛大学と愛媛県、地域経済団体が一体となり、国内外から愛媛県に優秀な留学生を呼び込み、入学時から卒業まで一貫したキャリア教育と就職支援を行い、留学生の日本就職を促進する。



引き続き学長戦略経費，基金，文科省補助金等により学生の留学（派遣・受入）に対する支援を行う